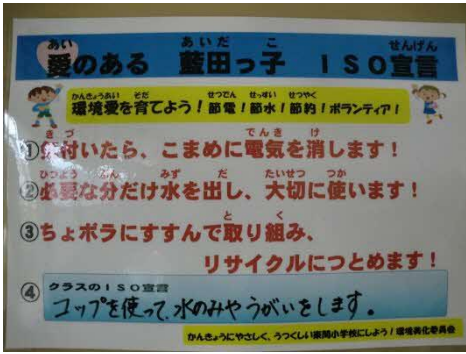



令和２年度（２０２０年度）学校版環境ＩＳＯへの取組
 ＜ 人吉市立東間小学校 ＞

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>〔藍田っ子環境ＩＳＯ宣言項目〕 「愛のある 藍田っ子 ＩＳＯ宣言」 【環境愛を育てよう！節電！節水！ボランティア！】</p> <p>① 気付いたら、こまめに電気を消します！ ・電気の使用量昨年度比５％減を目指す。 ・休み時間や教室に誰もいないときは、無駄な電気を消す。</p> <p>② 必要な分だけ水を出し、大切に使います！ ・水道の使用量昨年度比５パーセント減を目指す。 ・コップ１杯での歯磨き率１００％を目指す。 ・バケツの水の量は半分にする。</p> <p>③ ちょボラにすすんで取り組み、リサイクルに努めます！ ・古紙回収ボックスを準備し、裏紙を使用する。 ・家庭と協力して、ペットボトルのキャップや廃油を回収する。</p> <p>④ クラスのＩＳＯ宣言 ・各クラスが目標を掲げ、環境保全に取り組む。</p> <p>〔職員用環境ＩＳＯ宣言〕</p> <p>① 節電・節水に心がけます。 ・教室を出るときなど、こまめに電気を消す。 ・設定温度を意識し、冷暖房の使用、温度や風量の調節をする。 ・印刷室を使用しない時は、電気や機器の電気を切る。</p> <p>② ゴミを減らし、分別を心がけます。 ・裏紙利用や両面印刷などで、紙の消費量を削減する。</p> <p>③ 清掃時の指導を徹底し、校内美化に心がけます。 ・「無言清掃・時間いっぱい・隅々まで掃除」に一緒に取り組み、指導の徹底を図る。</p>	
行動	 	<p>環境美化委員会から全校児童に向けて「藍田っ子環境ＩＳＯ宣言」を募集した。募集したものの中から環境ＩＳＯ宣言を決定し、あいだっ子集会（放送）で伝え、学校全体で取り組んでいる。「藍田っ子環境ＩＳＯ宣言」と「職員用環境ＩＳＯ宣言」は、校内及び学級内に掲示し、取組内容をいつでも確認したり、振り返ったりすることができるようにしている。</p> <p>① 藍田っ子環境ＩＳＯ宣言項目 <u>気付いたら、こまめに電気を消します！</u> 各学級や特別教室を使用しない場合には、係の児童や最後に教室を出る児童などが、照明やエアコンの電源を切り、電気量削減に取り組むようにした。</p>



② 藍田っ子環境 I S O 宣言項目

必要な分だけ水を出し、大切に使います！

給食後の歯磨きのときには、コップ1杯の水を準備しておき、うがいのときには、その水だけを使用するようにした。

また、掃除の時に使う水の量は、バケツの半分の量を使って雑巾を洗うようにした。



③ 藍田っ子環境 I S O 宣言項目

ちょボラにすすんで取り組み、リサイクルに努めます！

古紙回収ボックスを各学年に設置した。また、職員が使う印刷室でも紙の分別を行い、裏紙を使用し、紙の消費量を減らすように努めた。裏紙はサイズ別に分けて使用しやすいようにし、使用済みの封筒も再利用した。

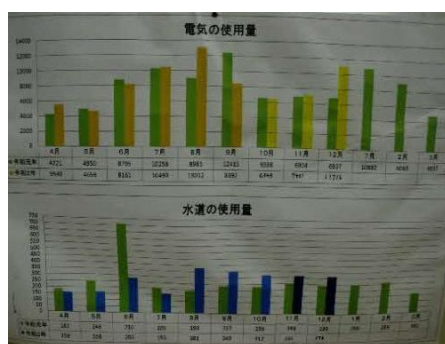


家庭と協力し、ペットボトルキャップや廃油を回収するようにした。児童の昇降口に環境コーナーを設置し、ペットボトルキャップや廃油を回収しやすいようにした。ボランティア委員の児童は、集まったペットボトルキャップを仕分けし、校内放送でも協力してくれた児童の名前を紹介する活動を行った。



自分から進んで、ちょっとした時間を見つけてボランティア活動をするように取り組んだ。高学年が、登校後進んで清掃活動に取り組んだ。その行動を見て、低学年や中学年の児童も外に出て、清掃活動をしている様子も見られた。

記録



電気と水道の使用量の揭示

昨年度の節電・節水状況との比較ができるように、使用量の変化を棒グラフで表したものを掲示した。環境美化委員が毎月記録し、児童や職員に取組の結果が分かるように取り組んだ。

電気使用量（6月～12月分までを比較）

令和元年度 60,780 kWh

令和2年度 65,620 kWh

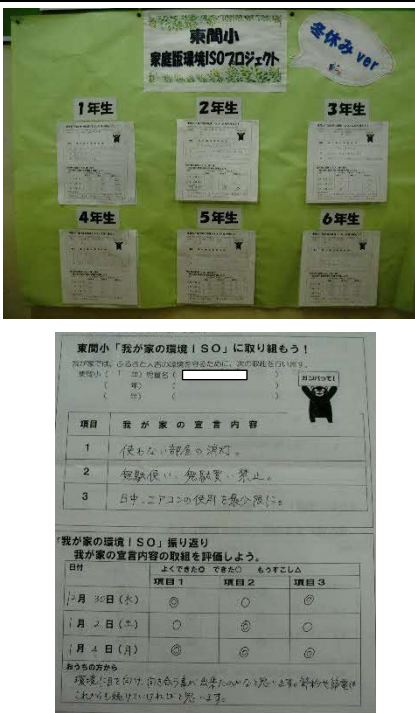
前年比 約108%

水道使用量（6月～12月分までを比較）

令和元年度 2,057 m³

令和2年度 1,976 m³

前年比 約96%

		<h3>家庭版環境 I S O の取組と紹介掲示</h3> <p>本年度、取り入れた取組が「家庭版環境 I S O」である。SD G s も意識し、児童が家族を巻き込んで環境保全に取り組めるように、夏季休業中・冬季休業中に実践できるようにした。</p> <p>各家庭で取組内容を話し合い、節電、節水、ごみの減量などに取り組むようにした。休業明けに回収し、環境コーナーへ掲示し、学年で一家庭ごとに紹介するようにした。</p>
見直し	<ul style="list-style-type: none">・月 1 回の委員会活動のときには、必ず 1 か月の振り返りを行い、記録を見て改善点を考える。学校全体に呼びかけて取り組めること、委員会のできることなどを検討し、より環境保全に向けて取り組みたい。・新型コロナウイルス感染症防止対策で、全校集会を放送で行った。一斉に集まる場面がなくなったため、環境保全に全校挙げて取り組もうとする主体的な活動の意識が薄れて、電気や水道の使用量に対する児童の意識に差を感じた。校内放送や日常の呼びかけ、掲示物の工夫が必要である。	

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・本年度のISO宣言に、学級ごとの目標を掲げることで、学級で協力して環境保全に取り組もうとする雰囲気が感じられた。 ・6年生が手本となり、朝のボランティア活動をすることで、低・中学年も朝から清掃活動に取り組もうとする様子が見られるようになった。 ・月1回の委員会活動以外に、常時活動として古紙回収をすることで、使用状況をこまめに把握し、取組の呼びかけにも活用できた。紙の減量化への意識付けができた。 ・家庭版環境ISOへの取組は、家庭との連携を図り、児童が学校以外でも環境保全に取り組めるきっかけづくりとして有効な取組だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、換気、手洗い、うがい、消毒などの徹底を図るため、夏場と冬場の冷暖房の使用や水道水の使用で、単純な前年度比較ができない状態であった。 ・ペットボトルキャップの回収を行っているが、更に家庭との連携を図るために、学校での取組を発信していく必要がある。 ・宣言の取組状況と記録を基に本年度の取組を見直し、児童や職員への結果や改善点の周知を図り、より徹底した取組ができるよう努力することが必要である。 ・本年度は、PTAの専門部の活動も中止され、廃油回収の呼びかけができなかったもので、来年度、同様の状況下での取組方法を考えていく必要がある。